

# 社会資本総合整備計画

(水の安全・安心基盤整備)

復興基本方針関連(全国防災)

平成 24 年 3 月 19 日

三重県・川越町

(参考様式2)

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

平成 24 年 3 月 19 日

計画の名称	1 「かわごえの安全・安心なまちづくり」を支える災害に強いまちづくりの推進（復興基本方針関連（全国防災））		
計画の期間	平成24年度 ～ 平成27年度（4年間）	交付対象	川越町
計画の目標			

予測される大規模地震などによる被害の増大に対し、「地震、水害など災害に対する安全性」を支える災害に強いまちづくり、安心・安全な住民生活の確保を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・重要幹線管渠（汚水）における耐震診断実施率及び耐震化達成率を0%（H24）から100%（H27）に増加させる。
- ・川越排水機場における地震対策実施率を0%（H24）から100%（H27）に増加させる。
- ・川越排水機場における土木・建築施設の耐震化に合わせ設備改築実施率を0%（H24）から100%（H27）に増加させる。
- ・総合地震対策計画に基づきマンホールトイレの設置率を0%（H24）から100%（H27）に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H27末)							
重要幹線管渠（汚水）における耐震診断実施率（%） 重要幹線管渠（汚水）における耐震診断実施延長（km）／重要幹線管渠（汚水）延長（km）	0%	100%	100%							
重要幹線管渠（汚水）における耐震化達成率（%） 重要幹線管渠（汚水）における耐震化達成延長（km）／重要耐震化幹線管渠（汚水）延長（km）	0%	70%	100%							
川越排水機場における地震対策実施率（%） 地震対策を実施した箇所数/地震対策対象箇所数（川越排水機場 1箇所）	0%	100%	100%							
川越排水機場における耐震化・耐水化実施率（%） 耐震化・耐水化を実施した施設数/耐震化・耐水化対象施設数（川越排水機場 1施設）	0%	0%	100%							
マンホールトイレの設置率（%） 実施設置基数/計画設置基数（マンホールトイレ 41基数）	0%	0%	100%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,775百万円	A	1,605百万円	B	0百万円	C	170百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	9.6%

交付対象事業

A1 下水道事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27		
1-A1-1	下水道	一般	川越町	直接	川越町	全域	全種	川越町下水道総合地震対策	マンホールトイレ(41基)	川越町					33	総合地震
1-A1-2	下水道	一般	川越町	直接	川越町	汚水	改築	川越処理区重要幹線管渠（地震対策）	耐震診断調査等	川越町					60	総合地震
1-A1-3	下水道	一般	川越町	直接	川越町	汚水	改築	川越処理区重要幹線管渠（地震対策）	耐震化工事 L=4.4km	川越町					96	総合地震
1-A1-4	下水道	一般	川越町	直接	川越町	ポンプ場	改築	川越排水機場（地震対策）	土木・建築施設の耐震化等	川越町					419	総合地震
1-A1-5	下水道	一般	川越町	直接	川越町	ポンプ場	改築	川越排水機場（浸水対策）再構築	設備の改築（耐震化・耐水化）	川越町					477	長寿命化
1-A1-6	下水道	一般	川越町	直接	川越町	ポンプ場	改築	川越排水機場雨水調整池（地震対策）	耐震対策1式	川越町					520	総合地震
											合計	1,605				

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考
										H24	H25	H26	H27		
											合計	0			

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考
										H24	H25	H26	H27		
1-C-1	下水道	一般	川越町	直接	川越町		川越町下水道業務継続計画（BCP）	業務継続計画 1式	川越町					10	
1-C-2	下水道	一般	川越町	直接	川越町	改築	川越処理区幹線管渠（地震対策）	耐震化工事 L=1.5km	川越町					150	総合地震
1-C-3	下水道	一般	川越町	直接	川越町		川越町下水道総合地震対策	マンホールトイレ(9基)、備蓄庫	川越町					10	総合地震
											合計	170			

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

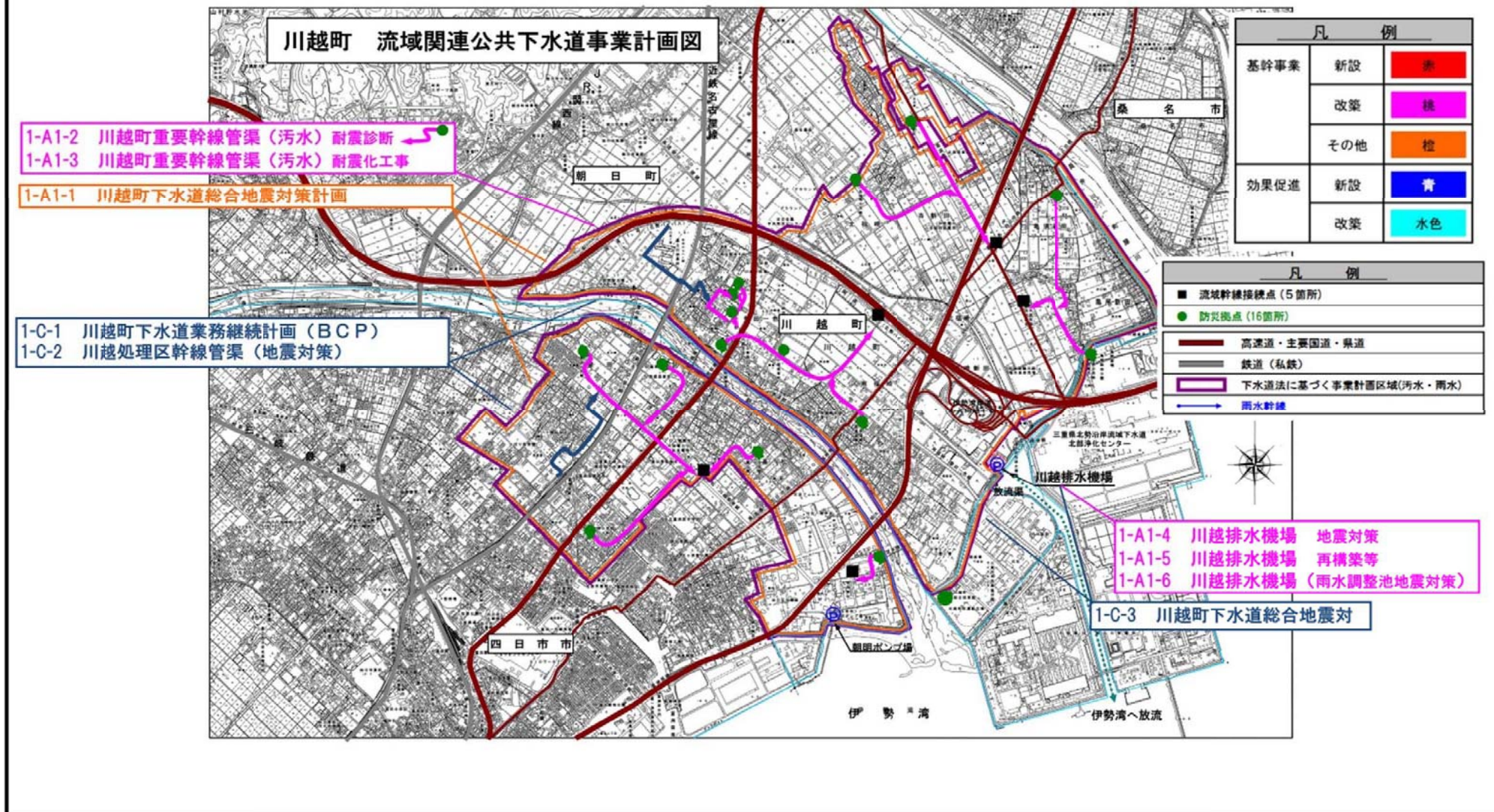
1-C-1 排水機場等の耐震化に併せて業務継続計画を策定することで、災害対策効果を向上させることができる。

1-C-2 川越処理区重要幹線管渠の地震対策に併せて他の幹線管渠を行うことで、地震対策の効果を向上させることができる。

1-C-3 川越町下水道総合地震計画に基づき、避難所等にマンホールトイレ・備蓄庫を設置することで、地震発生時対策の効果を向上させることができる。

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 「かわごえの安全・安心なまちづくり」を支える災害に強いまちづくりの推進（復興基本方針関連（全国防災））
計画の期間	平成24年度～平成27年度（4年間）



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称： 「かわごえの安全・安心なまちづくり」を支える災害に強いまちづくりの推進（復興基本方針関連（全国防災））

事業主体名： 川越町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
<b>①基本方針・上位計画等との適合性</b>	
1) 基本方針と適合している（第6次川越町総合計画）	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。（流総計画、北勢沿岸流域下水道計画(北部処理区)）	○
<b>②地域の課題への対応</b>	
1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
<b>③目標と事業内容の整合性等</b>	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
<b>④事業の効果</b>	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
<b>⑤地元の熱意</b>	
1) 将来のまちづくりに向けた要望として優先順位が高い。	○
<b>⑥円滑な事業執行の環境</b>	
1) 計画内容に関し、住民に対する事前説明が行われている。	○